

Feature Articles

地域の命と生活を 守るために

～メディア&通信事業者の取り組み～

- 8 静岡放送 / 静岡新聞社
- 10 JCOM
- 12 スカパーJSAT
- 14 防災対策ソリューション
シンクレイヤ / NHK / インターテック /
サテライトコミュニケーションズネットワーク / ジャパンケーブルキャスト /
JX通信社 / ソニーネットワークコミュニケーションズ / ティーブイエスネクスト /
データブロード

New Series

- 6 わが社の2030ケーブルビジョン
牛塚松男氏 射水ケーブルネットワーク(株)取締役会長

Special Report

- 53 「SWEET LOVE SHOWER 2022」

Convention Report

- 36 「第2回XR総合展」 取材・文/神谷直亮

Series Articles and Columns

- 20 放送ビジネスの政治経済学 ⑥ 文/音 好宏
- 22 メディア・リサーチ「テレビ70年を超えて⑥ ローカル民放再編の可能性」文/鈴木祐司
- 24 メディアまんだらげ ④ 「受信統計要覧が示すNHK-BSの現状」取材・文/猪股英紀
- 28 新・地域メディア最前線 ⑩ 取材・文/兼古勝史
- 30 地産飛翔～ケーブルビジネス関連動向
(気になるトピック / 機器チェック!)
- 38 アジア衛星TV最新情報 ④ 文/長瀬博之
- 40 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
- 46 Official Information
スカパーJSAT / 日本ケーブルテレビ連盟 / 日本CATV技術協会 / 日本ケーブルラボ / CRI
- 50 考えるメディア ④ 文/福田 淳
- 51 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ⑧ 文/喰 始
- 52 Information 新作映画紹介 & Convention
- 54 NEWS FILE 2022年8月1日～9月2日

DATA

- 34 CS-CHANNEL RANKING
- 64 定期購読のおすすめ
- 65 購読オーダーシート
- 66 Back Number



〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSバイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2022年9月10日に弊社HP (<http://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2022年9月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子 / 編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて



CLOSE SHOT

「SWEET LOVE SHOWER 2022」開催 10月23日他でスペースシャワーTVにて特番放送!

夏の野外フェスティバル「SWEET LOVE SHOWER 2022」(以下ラブシャ)が、山梨県山中湖交流プラザ きららにて8月26日～28日の3日間、開催された。この野外



[Alexandros]

京・港区)が1996年からスタートした大型イベント。音楽ファンの間では、通称「ラブシャ」と略され、広く親しまれている。

そのラブシャもコロナ禍の影響で、リアル開催は実に3年ぶり。初日には、Creepy Nuts、マキシマムザホルモン、WANIMA等が、2日目には、04 Limited Sazabys、BiSH、ウルフルズ、[Alexandros]等、3日目には、緑黄色社会、Vaundy、高橋優、YOASOBIが出演。3日間を締めくくるオオトリをレキシが務めた。山中湖畔から富士山を望む絶景ポイントに、スペースシャワーTVと縁のある

YOASOBI



アーティストなど総勢54組が結集した。コロナ禍によりアーティストへのコールアンドレスポンスがNGというマイナス面を遥か彼方へと吹き飛ばす、熱いパフォーマンスが次々に披露された。

この模様は、10月23日(初日)、10月30日(2日目)、11月6日(最終日)に3時間スペシャル番組として独占放送される。(※ライブの詳細は、P53)。

PHOTO:AZUSA TAKADA, 岸田哲平、関口佳代、中河原理英